

新特産品コンクールの入賞商品を紹介しながら「本物。」の魅力を伝えます。

特産品探訪

島グラス

2009かごしまの新特産品コンクール
鹿児島県知事賞



島グラス 直径8cm×高さ9cm
クリア：税込18,900円、黒：税込31,500円、緑：税込36,500円

薩摩びーどろ工業株式会社
〒895-2203 薩摩郡さつま町永野5665-5
電話0996-58-0141

鹿児島の「島」と桜島の「島」、鹿児島の魂をグラスにした「島グラス」。
この作品の作者で薩摩切子の吹き師塩水芳一さんにお話を伺いました。

すっきりとしたデザインが輝いて本当にきれいですね

会社みんなの協力で想像以上の出来に仕上がりました。

グラスの底の盛り上がりは鹿児島のシンボル「桜島」を表現しています。グラスに飲み物を注ぐと桜島の山肌が中身の色に染まる様子が楽しめます。

透明のグラスには九州新幹線にちなみツバメの姿とツバメが空を飛ぶ軌跡を曲線で表しました。カット職人のアイデアで曲線はハート型を描いています。

薩摩切子の中でも人気のある黒と鹿児島の自然桜島をイメージした緑のグラスには、それぞれ繊細なカット模様が生かされています。特に、カットのすき間から見える桜島を楽しんでほしいと思います。黒と緑はわざとグラスの底の部分までカットを入れました。走る列車の中から、流れていく外の景色を眺めるイメージです。

底の桜島はどのように作られるのですか？

島グラスは「吹き型」と呼ばれる型にグラスを吹き込んで形を作ります。この吹き型に桜島の型を入れ、その上からグラスを吹き込むことで、底の盛り上がりができます。

このときのグラスを吹く力の加減、空気の入れ方がすごく難しいですね。グラスの軟らかさや空気の入れ方で、グラスの厚さや底の桜島の形の出方が

に違いが出ます。職人それぞれの感覚が違うので、作品にも少しずつ違いが出る。全く同じものはないと思います。一つ一つ手づくりならではの魅力です。

作品づくりで心がけていることは？

使い勝手の良さですね。飾って楽しむだけでなく、器として実際に使ってもらいたいので、口当たりの良さ、持ったときの感触を大事にしています。薩摩切子は生地が厚くなりがちですが、それをいかに薄くして使いやすいう形に仕上げるかを心がけています。

今後決められた作法の中で、自分らしさを出していきたいと思っています。

バーテンダーから薩摩切子の吹き師に転職して4年目という塩水さん。「先輩方」一から仕込んでもらったおかげと笑顔で話してくださいました。

吹き師とカット職人の熟練した技が一つになって生まれた「島グラス」。グラスの優しい輝きがいやされません。



巻き取ったグラスを、ぬれた新聞紙を幾重にも折り畳んだ「紙リン」で丸い形になります。

Presents プレゼントコーナー



クリスタルガラスのペンダントを3名様にプレゼント。

どのプレゼントが届くかは、当たってからの楽しみ。プレゼントの指定はできませんのでご了承ください。

応募締切／平成22年2月26日(金)

応募方法／ハガキ、FAXまたは電子メールに

①「グラフ かごしま」に関するご意見・ご感想、②郵便番号、③住所、④氏名、⑤年齢、⑥職業、⑦電話番号をご記入の上、下記までお送りください。

●はがき宛先 〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10-1 鹿児島県広報課「グラフかごしまプレゼント係」
●FAX 099-286-2119 (件名は「グラフかごしまプレゼント」)
●メールアドレス h-kikaku@pref.kagoshima.lg.jp (件名は「グラフかごしまプレゼント」)

※いただいた個人情報は、プレゼント送付以外の目的には利用いたしません。
※当選者の発表は、プレゼントの発送をもってかえさせていただきます。



グラスに空気を吹き込み、成形する塩水さん。



「鹿児島ブランドショップ」(県産業会館1階)

本年も県産品の
ご愛用をどうぞよろしく
お願いいたします。

新春干支フェア

平成22年1月上旬

県内の特産品の問い合わせ、ご用命は

鹿児島ブランドショップへ

鹿児島県特産品協会

〒892-0821 鹿児島市名山町9-1 鹿児島県産業会館
☎099-225-6120 FAX099-223-0755

●定休日 年末・年始 ●営業時間 午前9時～午後6時

東京店 〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-6-4 千代田ビル3F

☎03-3506-9171 FAX03-3506-9172

ホームページURL <http://www.k-p-a.jp>

